資源の再利用は？
―来年から広報などで

ないのか

河内町長　①平成8年度で、集団研修室1万3911人、研修室7725人、学習室7207人、生活改善室7228人、調理実習室6888人、ふれあい食品加工室と工房室1064人、多目的広場7085人、野外調理場2470人。②平成8年度で、有料使用者292人、使用料4万8659円となっており、大半が会社等の利用となっているので、改正は考えていない。③水の浄化に苦慮しているが、国の補助事業であるので、大幅な改良は考えていない。

A議員　④使用料については、取るべき時に取らない場合もあるようなので、改正が必要と考えるがどうか⑤小川の施設の改良は具体的にどう考えているのか

池乗保健衛生課長　④条例の中に使用料については町長の特例により取らなくていいという条文があるので、改正の考えはない。⑤用水から水が入って来ず循環しないことから、電気ポンプ等を設置し浄化を図りたい。

資源の再利用は
来年から広報などで

B議員　資源の再利用について　①町の現状と問題点はなにか②今後の再利用に向けた取り組み方策はどのようなものがあるか

河内町長　①リサイクル商品は、庁舎内のトイレットペーパーのみで、その他の事務用品は特に使っていない。また、建設副産物は再生材プラントが町に無く、近隣市町村も少ないので、再生材が利用しにくい状況である。一般的にリサイクル商品は、価格が高いという問題点がある。②事務用品は価格、品質等を充分調査し検討したい。建設副産物は、有効に処理できる中間処理施設の整備、市町村レベルでの調整などの運用上の制度化を図りたい。

B議員　③ゴミの処理に、膨大な税金が使われている現状から古紙の再利用を自治体は率先してやるべきと考えるがどうか④集団古紙回収補助金の内容について⑤建設副産物の再利用をどう考えるのか

（関係する課全部）

小林総務課長　③コピー用紙等は使う方向で検討したい。

池乗保健衛生課長　④平成8年度の回収量は236t。なお、雑誌は今年度から業者が引き取らないので、回収していない。

高井建設課長　⑤今後対応できるか検討したい。

高橋下水道課長　⑤今まで使用したことはない。今後は道路管理者の許可と単価があえば使用したい。

本間施設課長　⑤下水道課と同じ。

大谷農政課長　⑤下水道課に同じ。

B議員　⑥建設副産物の再利用は、私が調べた範囲では逆に安い場合もあるが、調査されたのか⑦保健衛生課長の答弁にあるように古紙がなかなか回収されていないのは再生紙を使う人が少ないからで、自治体が少しでも使おうとするべきと考える。広報などの他の用紙について使う考えはないのか

高井建設課長　⑥単価的には同程度であるが、再生施設からの運搬費も加算されるので高くなる。

土田企画商工課長　⑦広報は印刷業者との契約の関係もあるので、来年度から検討したい。

小林総務課長　⑦事務用紙も検討したい。

学校開放は
コンピューター教室も

B議員　学校開放について　①現在の開放状況はどのようになっているのか②今後、開放を推進していく場合の考え方について

河内町長　①町立小中学校の施設使用に関する条例に基づき、グランド及び体育館を開放している。②社会体育の振興に関わる開放を積極的に図り、住民の健康保持と体力増進を目指し生涯スポーツ活動を推進したい。

B議員　③3月に改正された小中学校の開放に関する規則の内容について④野球場の貸し出し申請手続きには2回かかる。簡素化できないのか。また、他の町施設の許可はどうなっているのか

渡辺学校教育課長　③文化及び地域活動の普及推進並びに児童の健全育成を図るため、立仏・山田・大野小学校と黒埼中学校のコンピューター教室を開放する。

青木教育長　④1回で済むように検討したい。

大谷農政課長　④農村環境改善センターは1回で終わっている。

池乗保健衛生課長　④保健センターは1回で処理している。

B議員　⑤学校を含め町施設の貸し出しを1回の申請で行えるようにして欲しい

青木教育長　⑤公民館等にお

特養の建設計画は？
―介護保険の動向を見ながら

いては1回で済むようにしたい。ただし、学校については、学校と教育委員会にそれぞれ手続きをする必要がある。

行政サービスガイド発行を
来年以降に

B議員　行政サービスについて　①行政サービスの内容を小冊子にしたガイドを発刊する考えはないか②庁内電話にフリーダイヤルを取り入れたらどうか

河内町長　①来年の町制施行25周年記念事業の一環として、町民向けに町のしくみやあらましを紹介したガイドブック発刊を検討したい。②交換機を経由せず単独で受信しなければならず、役場の一般的な受付電話には適当でないと考える。個別的な用途を考えたい。

B議員　③ガイドブックは転入者にも配られる様にして欲しい④役場に電話すると「担当者がいないので後で電話くれ」と言われる。電話料くらい役場で持てないのか

土田企画商工課長　③転入者にも充分配慮して作りたい。

小林総務課長　④電話の対応については厳重に注意をしたい。フリーダイヤルは検討したい。

B議員　⑤課長の半分以上が、公費を使って海外行政視察を行っている。幅広い目で町進展に努力していただきたい

河内町長　⑤現在、役場の機構改革を図るため事務改善委員会で検討を行っている。その中で、事務等の見直しを真剣に考え、町民の皆様へのサービス低下がないよう努力したい。

国道8号の整備を
建設省にお願い

B議員　国道8号について　①今後の整備内容について②歩道に凹凸が目立つが、高齢者や障害者の利用に支障があるのではないか

河内町長　①黒埼地内の拡幅は、今年度から大野大橋の白根側下部工事に着手と聞いている。②建設省が平成8年に行った実態調査をまとめていると聞いている。早急に実現できるよう お願いしたい。

B議員　③歩道の整備は、大いに要望をして欲しい

高井建設課長　③機会を見、改善箇所を示しながらお願いをしたい。

特養の建設計画は
介護保険の動向を見て

C議員　特別養護老人ホーム建設について　①県議会で厚生省と県とのベット数の整備目標のくい違いについて論議されたが、町長はどのように受けとめているか②町の建設計画と待機者の状況について

河内町長　①経過は分からないが、福祉の重要施策であるので残念なことと思う。②建設計画は第4次総合計画を踏まえ、介護保険制度の動向を見ながら検討をしている。また、待機者は9月現在35人。

C議員　③整備目標のくい違いについてもう一度お聞きしたい④具体的な建設計画の考えはないのか

河内町長　③介護保険導入で在宅ホームを優先せよという指導があったりして、施設建設の方向へ進むのか決断しかねる状況。④在宅介護と特養ホーム建設はワンセットと考えるので、建設主体をどこにするか、検討しているところ。

C議員　⑤現在の待機日数はどれくらいか

外川住民福祉課長　⑤1年半くらい。

福祉のまちづくりは
ノーマライゼーションの理念

C議員　福祉のまちづくり推進計画について　①当町としては策定する考えはあるのか

河内町長　①ノーマライゼーションの理念を尊重し各施策の推進を図っているので、推進計画の策定は考えていない。

C議員　②まずは、障害者、高齢者の立場にたった町の実態調査を行ってはどうか

外川住民福祉課長　②関係機関と調整して検討したい。

ダイオキシン対策は
国、県の動きを待って

C議員　ダイオキシン問題について　①6月議会以降の町としての取り組みはどうか②